

After Action Reviewの手法

新型コロナウイルス感染症の対応を振り返る

AARの目的：将来に向けて改善すること

- 成功や失敗を評価することではない。
- 様々な対応には、改善すべき課題と、持続すべき強みがある。
- 非難や賞賛するのではなく率直な観察結果を共有する。
- 開放的な雰囲気で行う。
- それぞれが持っている重要な知見を共有する。

手法

- 参加者と立場を明確にする
- 目的を明確にする
- 範囲を明確にする

【AARで議論すべきこと】

- ① 何が起こると予想されたか？
- ② 実際に何が起きたのか？
- ③ 何がうまくいったのか、その理由は？
- ④ 何がどのように改善されるのか？

AAR記入シート

名前 (ニックネーム)	組織 (業種)	ポジション
対象期間	対象範囲	
例：発生～第1波	それぞれの組織内	

①何が起こると予想されたか？

検証項目	検証結果
どのような対応ができると期待していたか？	例：感染対策マニュアルに基づく対応
その対応を妨げたものは？	例：マスクや消毒液の不足

②実際に起きたことは何か？

検証項目	検証結果
実際に起きたことは何か？	例：集団感染、欠勤多数など

③何がうまくいったのか（その理由は）

検証項目	検証結果
うまくいったことは？（理由）	例：迅速な在宅勤務への切り替え（ワークライフバランスで整備していた）

④何がどのように改善されるのか？

今後、改善できる点は？（期待される効果）	例：リモートの対策本部の準備（感染拡大時でも災害対応が可能になる）